

雑

感

稔りの秋、深刻な冷害を耳にし目にする昨今、今年の秋のイメージは誠に暗い。景気の回復も思わしくなく、出稼ぎ先も思うにまかせぬ農家の悩みに胸をうたれる。こゝ数年、世界の動きは、平和主義の虚像を実像と取り違がえていた吾々日本人に、改めて食糧と資源に国境のあることを思い起こさせてくれた。お陰で農業問題が、真剣に前向きに論じられ始めた。こんな事を考えるとき、私がいつも思い出すのは、ちょうど減反ショックと農薬公害論で、吾々の周囲が沈滞しきっていた頃、韓国に出張した時の印象である。韓国の地方を廻るなかで、各道の農業振興院の方々に数多くお目にかゝったが、その方々の主食100%自給のテーマと取り組んでいる生々とした顔と言葉は、私にとって感慨深いものがあつた。今年の冷害は、稲作に対する技術面の論議を再び活発にするのではなかろうか。戦後の食糧問題の解決は、保温折衷苗代・パラチオン・肥料の三ツに支えられた。そして早植えによる安定増収を課題として、育苗技術・メイチュウ防除・増肥施肥法とを一体として組み合わせた総合性が、大きな成果を産んだものと考えられる。昔をふり返り今を思うと、この総合性、言いかえれば関係諸技術を総合的に組み立て、それを規格化することの思惟が、これからの稲作技術の探究に、より大切になってくるものと考えられる。もちろん、行政面でより総合性に富み、有機的に組み立てられた農業政策が必要なことは言うまでもなく、農薬の研究・開発に対する積極的な政策が、その中に織り込まれるべきである。

(日産化学工業(株) 取締役 高橋 俊一)

目次 (第10巻第8号)

休耕畑の雑草……………	2
<農事試験場畑作部 中山兼徳>	
1. 休耕畑の雑草害……………	2
2. 休耕畑と雑草の生態……………	3
3. 休耕畑の復元と雑草対策……………	5
野菜の除草剤について……………	6
<野菜試験場久留米支場 栗山尚志>	
第1表 作物別・除草剤別使用基準登録の有無一覧……………	7
第2表 野菜用除草剤の野菜の種類別登録・末登録薬剤数……………	9
第3表 野菜用除草剤と使用基準……………	10
第4表 末登録薬剤とその薬剤特性……………	32
除草剤使用面積一覧表……………	34
<財団法人 日本植物調節剤研究協会>	
植調協会だより……………	40

原稿募集

当誌では、愛読者の皆様より当誌に掲載する原稿を広く募集いたしておりますので、ふるってご投稿のほどお願い申し上げます。

内容は、除草剤や生育調節剤の研究・普及に関する記事で、頁数は400字詰原稿用紙で20～30枚位でまとめて下さい。

掲載いたしました際は、当協会規程の原稿料をお支払いいたします。